

17 森田實予科教員採用の認可申請（昭和六年二月）

（欄外注記1）

（欄外注記2）

（欄外注記3）

<p>案起 昭和六年一月一九日 主任（丸山印） （堀口印） （森田印）</p>	<p>案起 昭和六年二月九日 主任（堀口印） （丸山印） （森田印）</p>
<p>部長 学務課長（中原印）</p>	<p>部長 学務課長（中原印）</p>
<p>進 達</p>	<p>下 付</p>
<p>中央大学 予科教員採用認可 右第三式經由印ヲ捺シ文部省 へ進達可然哉</p>	<p>同上ニ対スル指令 昭和六年二月七日 認可 右第四式經由印ヲ捺シ 上記学校 へ送付可然哉</p>

（欄外注記4）

進 達 願

別紙本大学予科教員採用認可申請書主務省ニ御進達被下度此段及御願候

昭和六年壹月拾參日

中央大学学長 原 嘉道 印

東京府知事 牛塚虎太郎殿

教員採用認可申請書

(欄外注記5)  
別記森田實本大学予科教員トシテ採用致度此段認可申請候也  
昭和六年七月拾参日

中央大学学長 原 嘉道

文部大臣 田中隆三殿

専任教員 森田 實

担任学科目 歴史、倫理

毎週授業時数 八時間

学位称号 文学士

履 歴 書

原 籍 三重県南牟婁郡有井村大字井戸拾壹番地  
現住所 三重県宇治山田市倭町七〇番地

戸主平民正四位勲三等 森田 實

昭和八年十月三十日生

- 一、明治廿六年 四月 神宮皇学館卒業
- 一、同 廿九年 四月 日本中学校卒業
- 一、同 年 七月 第一高等学校大学予科入学
- 一、同 卅二年 七月 同校 卒業
- 一、同 年 同月 東京帝国大学文科大学史学科入  
学
- 一、同 卅五年 七月 同大学 卒業

一、同 年 九月 東京新義真言宗豊山派高等尋常中学  
林歴史科主任教授ヲ托セラシ

一、同 年十一月 東京曹洞宗高等学林講師ヲ托セ  
ラル

一、同 卅六年十一月十八日 任神宮皇学館教授 叙高等官六  
等

一、同 年 同月 同日 一級俸下賜

一、同 年十二月廿五日 叙正七位

一、同 卅九年 四月十三日 陞叙高等官五等 四級俸下賜

一、同 四十年 四月廿六日 依願免本官

一、同 年 五月十一日 神宮皇学館長ノ具申ニ依リ史学研究ノ  
為ニケ年間欧州留学ヲ命ス

一、同 四十二年一月 八日 神宮皇学館長ノ具申ニ依リ明治四十三年  
三月末日マテ欧州留学延期ヲ命ス

一、同 四十三年五月 十日 任神宮皇学館教授 叙高等官五  
等

一、同 四十四年九月廿七日 陞叙高等官四等 三級俸下賜

一、同 四十五年三月十一日 叙正六位

一、大正 二年 九月 六日 四級俸下賜(官等俸給令改正)

一、同 元年十二月 廿日 神宮皇学館教務部長ヲ命ス

一、同 三年 九月 七日 同 歴史科主任ヲ命ス

一、同 六年 四月十六日 陞叙高等官三等

一、同 年 五月十一日 叙従五位

一、同 六年十二月廿五日 三級俸下賜

一、同 七年十二月廿七日 叙勲六等 授瑞宝章

一、同 十一年 六月 卅日 叙正五位

一、同 年 九月廿七日 神宮皇学館庶務部長兼務ヲ命ス

一、同 十二年 二月十七日 神宮皇学館長上田万年欧州出張中  
同館長代理ヲ命ス

一、同 年 三月廿四日 叙勲五等 授瑞宝章

一、同 年 四月廿七日 陞叙高等官二等 四級俸下賜

一、同 十三年 四月 卅日 叙勲四等 授瑞宝章

一、同 十五年 三月卅一日 任神宮皇学館長兼教授

一、同 年 同月 同日 叙高等官二等 三級俸下賜

一、同 年 六月廿一日 神社調査会委員ヲ命ス

一、昭和 二年十一月十五日 叙従四位

一、同 四年 六月廿八日 叙勲三等 授瑞宝章

一、同 年 七月十九日 神宮式年遷宮委員部参与ヲ依嘱  
ス

一、同 五年 六月三十日 二級俸下賜

一、同 年 八月廿六日 陞叙高等官一等

一、同 年 八月廿七日 依願免本官並兼官

一、同 年 九月廿三日 叙正四位

一、同 年 同月 同日 特旨ヲ以テ位一級被進

以上

昭和五年十月十日

右之通ニ御座候也

森田 實

(欄外注記1)

「收受未字第二三六号」「判決一月二十二日」「施行一月二十二日」

(欄外注記2)

「判決二月十四日」「施行二月十四日」

(欄外注記3)

「完結」

(欄外注記4)

「東京府收受・昭和六年一月十七日」

(欄外注記5)

「東京府收受・昭和六年一月十七日」

(昭和六年学務課 私立学校第一種冊の一〇五七 314 B2 10)